

第75回小田原市民総合体育大会開催要項

- 1 趣 旨 スポーツを愛好する多くの市民に、日ごろの錬成の成果を発揮する機会を提供し、心身の健全な育成と競技力の向上を図るとともに、各地区民の相互の親睦と明るい市民生活の向上に寄与する。
- 2 主 催 公益財団法人小田原市体育協会
- 3 後 援 小田原市
- 4 期 日 開会式 令和5年7月14日（金）
競 技 令和5年7月22日（土）・23日（日）・30日（日）
- 5 実施競技 <地区対抗競技>
軟式野球、ソフトボール、サッカー、バスケットボール、ソフトテニス、
バドミントン、卓球、バレーボール、剣道、弓道、陸上競技、ペタンク、
ゴルフ、グラウンドゴルフ
<地区対抗オープン競技>
テニス
<オープン競技>
インディアカ
柔道（中止）
- 6 競技方法 (1) 地区対抗競技とし、団体競技については各地区1チームとする（オープン競技を除く）。
(2) 本要項に規定されている条項以外は、各競技組織で制定されている令和5年度、競技規則及び各競技協会申し合わせ事項による。
- 7 参加資格 (1) 本市に令和5年6月1日以前から引き続き居住する者。
(2) 選手は居住する地区（住民登録地）から出場する（地区体育振興会単位）。ただし、地区体育振興会が一部交錯する地区においては、自治会連合会単位とする。
(3) 市外に居住する大学生、専門学生、大学院生については、「ふるさと枠」として父母又は保護者が居住している地区から出場できる。（選手登録数の3分の1以下とする）
(4) 年齢計算は、令和5年7月1日現在とする。年齢別種目においては必ず当該年齢から出場すること。
- 8 得点及び順位の設定 (1) 競技別得点は中位を固定し、そこから上位は加点し、下位は減点する偏差値方式とする。
(2) 総合順位は、得点の多い順とする。ただし、同点の場合は上位成績の多い地区を上位とする。
(3) 雨天等によって大会開催に支障をきたしたときは、いずれか1日の全日程を終了した場合のみ、その時点で得点をわけ、トーナメント以外の競技では、2分の1以上が終了していればその時点で順位を決める。それ以外の場合は、参加チームに参加点2点を与える。
(4) 参加チーム数によっては、各競技の優勝チームを2チームにするような組み合わせを作成する場合もありうる。

- 9 表彰 (1) 総合優勝地区に優勝旗・総合優勝杯、2位に総合準優勝杯、3位に総合3位杯を授与する(持ち回り)。また、6位までに賞状を授与する。
 なお、総合成績の表彰は小田原市民総合体育大会向上推進会で行う。
 (2) 競技ごとに優勝杯を授与する(持ち回り)。3位までに賞状を授与する。また、個人競技(陸上競技、ゴルフ)の3位までに賞状を授与する。なお、競技別の表彰は競技終了後、各競技会場において主管協会が行う。
 (3) 3年連続総合優勝した地区には盾を授与する。
 (4) 種目ごとに10年連続優勝した地区には盾を授与する。
- 10 申し込み 参加申込書(一覧表)及び選手名簿は6月22日(木)17時までに体育協会事務局へ提出すること。
- 11 代表者会議及び組み合わせ抽選
 7月6日(木) 19時から小田原アリーナ・研修室
 組み合わせ抽選はソフトによる自動抽選で代表者会議にて主催者が行い組み合わせを決める。
- 12 失格事項 すべての競技において出場資格のない者が発見された場合は、発見時をもって失格とし、それ以前の試合にはさかのぼらず、発覚後は個人競技も含め失格地区の対象競技への参加を認めない。
 陸上競技においては最終種目、その他の種目は最終試合終了時を競技会成立とし、その後のクレーム等は一切認められない。
- 13 注意事項 (1) 登録メンバー以外の出場は認めない。ただし、メンバー変更については、各競技の規定による。メンバー変更以外、当日の追加選手は認めない。
 (2) 申し込み締切り後の追加申込は一切受け付けない。
 (3) 資格問題及び審判上の問題の異議の申し立ては、各チームの監督から明確な根拠をもって主管協会運営本部に行うこと。資格問題の決定は主催者が行う。
 (4) 試合時刻に集合しない者は棄権とみなす。
 (5) 参加選手は、各競技規定に示されたゼッケンを必ずつけること。監督が選手を兼ねる場合は、規定の選手以内で選手としての申し込みをすること。
 (6) 当日棄権をする場合は、競技開始30分以前に大会本部に連絡をすること。
- 14 その他 (1) スポンサー名(企業名)が入ったユニフォームの着用を認める。
 (2) 大会中、神奈川県に熱中症警戒アラートが発令された場合でも各種目に応じた対策をとり大会を開催する。

◇軟式野球

日 時 7月23日・30日 競技開始 8:30
 試合開始予定30分前に集合

会 場 酒匂川スポーツ広場

試合方法 トーナメント7回戦(正式試合5回)とし、1時間30分を過ぎて新しいイニングに入らない。ただし勝っている後攻チームが攻撃している場合、1時間30分の時点で終了する。勝敗のつかない時は、チーム代表1人の抽選による。
 得点差によるコールドゲームは、5回以降7点差とする。
 指名打者ルールあり。申告四球ルールあり。

試合球 M号

選手登録 監督1名、選手17名以内。

- 両日の選手変更を認める。ただし各8名以内とする。
- 服 装 (1) 運動に適する服装とする。運動靴(スパイク)、野球帽子着用。
(2) 背番号は必ず着用し、0~30番を使用する。ただし、監督は30番、主将は10番とする。
- 注意事項 (1) 高校・大学の硬式野球部員及び中学生以下は参加できない。
(2) 打者・走者のヘルメットの着用。(最低5個必要)
- 猛暑時の対応について
(1) こまめに水分を取るよう徹底する

◇ソフトボール

- 日 時 7月23日・30日 競技開始 9:00
試合開始予定30分前に集合
- 会 場 酒匂川スポーツ広場
- 試合方法 『2022年度(公財)日本ソフトボール協会オフィシャルルールを適用する』
トーナメント、7回戦。80分で新しいイニングに入らない。初日雨天時の場合は、50分までとする。
3回15点、4回10点、5回以降7点以上の差が生じた時は、得点差コールドゲームとする。
80分を過ぎて同点のときは、2回のみタイブレーカーとし、勝敗のつかないときは、出場している選手9人の抽選による。
抗議は、監督のみとする。
- 選手登録 監督1名、選手17名以内。監督・コーチが選手を兼ねる場合は選手欄に記入する。
両日の選手変更を認める。ただし各8名以内とする。
- 服 装 (1) 運動に適する服装とする。運動靴、スパイク(金属は除く)、ヘルメット並びに野球帽子、プロテクター(捕手)を着用すること。
(2) 胸に地区名を入れたゼッケンを付ける。ユニフォームにチーム名があればOK。
(3) ユニフォームナンバーは、背中と胸下につける。選手は1~99番、監督は30番、コーチは31番・32番、主将は10番とする。
- 注意事項 (1) 高校生以下及び女子の出場は認めない。
(2) 試合開始時刻に9人が揃わない場合は、7対0で負けとする。
(3) 土堤には、駐車しないこと。「ドクターヘリ」が来ることもあるため
- 猛暑時の対応について
攻撃15分以上の場合は給水タイム5分間取る事を原則とする。

◇サッカー

- 日 時 7月23日・30日 競技開始 9:00
試合開始予定30分前に集合
- 会 場 酒匂川スポーツ広場
- 試合方法 トーナメント、20分ハーフ 初日が雨天時の場合は、15分ハーフとする。
同点の場合は、PK5本ずつで決定する。
- 選手登録 監督1名、選手11名以上17名以内で中学生(顧問、保護者の承諾を得た者に限る)以上とする。
両日の選手変更を認める。ただし各8名以内とする。選手交代の人数は自由とする。
ただし一度退いた者は再びゲームに出場することはできない。
- 服 装 (1) 各チームは同色のユニフォームとし、すねあてを必ず着用すること。
(2) ユニフォームとは上下(シャツ・パンツ)とストッキング(ソックス)をいう。
(3) 必ず背番号を縫い付ける。

- 注意事項
- (4) 必ず地区名の入ったゼッケンを付ける。
 - (1) メンバー表は、試合開始 30 分前に本部に提出すること。
 - (2) ゴールキーパー以外の選手のタイツ着用は認めない。
 - (3) 試合開始時刻に遅れたチーム（レッドカードでの出場停止も含む）は失格とする。
 - (4) 競技者数は 11 人以下 7 名以上うちゴールキーパー 1 名で試合成立とする。
 - (5) 審判は帯同制とし、試合を棄権した場合でも、予め決められた試合の審判は行なうものとする。

猛暑時の対応について

- (1) **アディショナルタイム（空費された時間）は選手の負傷による時間以外は基本的には対象としない（ランニングタイム）**
- (2) **給水タイムの採用（前後半に 1 回、約 1 分間の飲水時間を取る）**

◇バスケットボール

- 日 時 7 月 23 日・30 日 競技開始 9:00
集合は、第 1 試合のチームは午前 8 時 30 分、第 2 試合以降のチームは前の試合のハーフタイム終了まで。
- 会 場 小田原アリーナ（メインアリーナ）
- 試合方法 トーナメント、7 分クォーター
- 試合球 7 号球
- 選手登録 監督 1 名、選手 15 名以内。
両日の選手変更を認める。ただし各 6 名以内とする。
- 服 装 (1) ユニフォーム（シャツ・パンツ）は、日本バスケットボール協会が定める競技規則によるが、濃淡 2 色が揃わない場合、相手チームと混同しない色であれば 1 色でも構わない。
(2) パンツは、チーム内で統一されてなくても良い。
(3) シャツの前と後ろの見やすい位置に、4~99 の番号を付けること。
- 注意事項 (1) テーブルオフィシャルズは、帯同制とする。

◇ソフトテニス

- 日 時 7 月 23 日 集合 9:00 競技開始 9:30
雨天等で延期の場合は 7 月 30 日
- 会 場 小田原テニスガーデン
- 試合方法 リーグ戦、男子 2 ペア・女子 1 ペアの計 3 ペア。（2 ペアでも出場可。）
試合順序は、男子・女子・男子とする。
ただし、男子に代わり女子の出場可。女子に代わり 70 歳以上の男子出場可。
2 ペア勝ったチームを勝者とする。
オーダーは、各試合ごとに変更できる。
- 選手登録 監督 1 名、選手男子 6 名・女子 4 名以内。
当日の選手変更を認める。ただし 4 名以内とする。
- 注意事項 (1) 必ず地区名のゼッケンを背中に付ける。ただし、プリント又は刺繍も認める。
(2) 上記以外は、令和 5 年度（公財）日本ソフトテニス連盟ソフトテニスハンドブックにより行う。（原則）

猛暑時の対応について

当日、代表者との打ち合わせの際に水分をこまめに取りよう周知徹底する

◇バドミントン

日時	7月30日 集合 8:30 競技開始 9:00
会場	小田原アリーナ (メインアリーナ)
試合方法	団体戦 (ダブルス 3 試合) による予選リーグ (4 組) 各リーグ 1 位による決勝トーナメントを行う。予選リーグは勝敗が決しても 3 試合行う。
種目	男子ダブルス・女子ダブルス・特別ミックスダブルスの順に行う。特別ミックスダブルスは女性同士のペア、男性同士のペア (1 名は 60 歳以上) も可とする。いずれの 2 種目でも試合は成立するが選手は種目を兼ねられない。各種目とも 21 ポイント 3 ゲームで行い、その他のルールは現行の日本バドミントン協会の競技規則によるが、サービスの 115cm ルールは実施する。
選手登録	監督 1 名、選手男子 4 名・女子 4 名以内とする。(ただし、監督を除き最低でも上記のうち 2 種目が成立する人数で登録する) 当日の選手変更を認める。ただし 3 名以内とする。
注意事項	(1) 服装は日本バドミントン協会指定のものを着用することを原則とするが、大会ルールとして Tシャツを認める。 (2) 審判は相互審判制とする。 (3) 地区名のゼッケンを付けること。

◇卓球

日時	7月30日 集合 8:30 競技開始 9:00
会場	小田原アリーナ (メインアリーナ)
試合方法	団体戦 (単 5 試合) 予選リーグ・各リーグ上位 2 チームにより決勝トーナメントを行う。 ①60 歳以上単 (男女問わず) ②男子単 ③混合複 ④女子単 ⑤男子複の順で実施する。男女とも重複出場は不可とする。 試合は 11 本ゲーム 5 セットとし、予選リーグは勝敗が決しても全ての試合は 5 番まで行う。ただし、勝敗の得失点は、試合が決した時点とする。 決勝トーナメントは 3 点先取した時点で終了とする。
試合球	プラスチック 40mm ボール
選手登録	監督 1 名、選手 11 名以内 (男子 6 名、女子 3 名、60 歳以上 2 名) とする。 当日の選手変更は 3 名までとする。 男子の部に女子の参加を認める。ただし、事前に選手登録の際に登録すること。また、選手変更があった場合も同様とする。 男子の部に登録された女子選手は、女子の部に出場できない。
注意事項	(1) ゼッケンは上段に選手名、下段に地区名を記入し、背に必ず付けること。 (2) 選手がそろわない場合、60 歳以上がいなるときは、1 番を棄権とする。 年齢制限がない区分で棄権する場合は、2 番から順番に棄権とし、試合が成立する人数を確保すること。 (3) ユニフォームは同色系が望ましいが、揃わない場合はこの限りではない。

◇バレーボール

日時	7月23日 集合 8:30 競技開始 9:00
会場	男子：小田原アリーナ (メインアリーナ) 女子：小田原アリーナ (サブアリーナ) ※女子：選挙関連で会場が使用できない場合はメインアリーナへ移動
試合方法	トーナメント 9 人制 ネットの高さ 男子 2.38m 女子 2.15m

- 試合球 5号
- 選手登録 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手15名以内。
当日の選手変更を認めるが、開始式終了までとする。
- 注意事項 (1) 競技者のユニフォームには1～99の番号を付ける。番号は、胸部（縦10cm以上）背部（縦15cm以上）の中央に糸で縫い付ける。地区名は表示しなくてもよい。安全ピンによる取り付けはしないこと。
(2) 主将は、胸にユニフォームと異なった色で長さ8cm幅2cmのマークを付ける。
(3) 監督章・コーチ章・マネージャー章は各チームで用意し、左胸部に付ける。
(4) 競技者のユニフォームは、基本的に上下とも統一された色を用いる。ただし、色の統一ができない場合は、
①上のユニフォームは統一した色とする。
②下（パンツ）は不統一で良い。
(5) チームの構成員（監督、コーチ、マネージャー、選手）は、男女間で重複エントリーできない。
(6) 上記以外の規則については、JVAが規定する2023年度版9人制バレーボール競技規則によるものとする。

◇剣道

- 日時 7月30日 集合 9:00 競技開始 9:30
- 会場 小田原アリーナ（サブアリーナ）
- 試合方法 予選リーグ・決勝トーナメント（参加チーム数により変更あり）
1チーム選手3名（剣道三段以下）の団体戦とする。
試合時間は、3分間3本勝負とし、時間内に決しないときは引き分けとする。
チームの勝敗は勝者の多い方とする。勝者が同数のときは勝本数の多い方を勝ちとし、これも同数のときは予選リーグにおいては引き分け、決勝トーナメントでは代表者戦を行う。代表者戦は最後に引き分けたポジションの選手によって行う。
試合は1本勝負とし勝負の決するまで行う。
- 選手登録 監督1名、選手3名。選手2名編成でも可。男女問わず出場できる。
選手編成は、先鋒：小学生 中堅：中学生 大将：高校生・大学生・一般とする。
選手の変更は、当日の受付のときに限り認める。
オーダー変更は認めない。（全試合同じメンバーで行う）
- 注意事項 (1) 出場選手は必ず垂に地区名及び名前を記入する。（チョーク可）

◇弓道

- 日時 7月23日 集合 9:00 競技開始 9:35
- 会場 城内弓道場
- 試合方法 3人1チーム（2人でも可）の団体戦。
参加チームを2組に分け、予選リーグを行う。各リーグ上位2チーム計4チームでトーナメントを行い、1～3位を決める。予選リーグは1人2本立射、トーナメントは1人4本立射とする。予選の順位は、勝ちを1点、引き分けを0.5点とし、合計点数の多い方から上位とする。
トーナメントで同中の場合は1本競射で勝敗を決める。
- 選手登録 監督1名、選手4名以内。2名でも可。
当日の選手変更を認める。ただし2名以内とする。
- 猛暑時の対応について
水分を充分とる。給水の声かけ。

◇陸上競技

日 時	7月30日	競技開始	9:00	雨天決行
会 場	城山陸上競技場			
競技内容	競技種目(200m、800m、走高跳)を取り止め、午前中のみ競技会とする △中学生の部(1種目1名)(補欠・男女各2名以内) 男子 100m・400m・3000m(選手1名・オープン参加1名)・ 4×100mリレー・走幅跳・砲丸投 女子 100m・800m・4×100mリレー・走幅跳・砲丸投 △一般の部(1種目1名) 男子高校生以上40歳未満(補欠・3名以内) 100m・400m・1500m・走幅跳・砲丸投 男子40歳以上(補欠・1名以内) 100m・1500m・走幅跳・砲丸投 男子年齢制限なし(中学生を除く) 5000m・4×100mリレー 女子高校生以上(補欠・2名以内) 100m・4×100mリレー・走幅跳・砲丸投 女子年齢制限なし(中学生以上) 3000m			

競 技 者 注 意 事 項

小田原市陸上競技協会では「感染リスクを軽減させた競技会運営に向けたガイドンス」にそって新型コロナウイルス感染症対策につとめながら競技会運営にあたってきましたが「マスク着用に関する政府方針」「5類感染症への移行」ならびに現在の社会情勢をふまえ「新型コロナウイルス感染症対策」を次のように緩和して実施します。

- 1、昨年度まで提出を求めていた「新型コロナウイルス感染症確認票」の提出は必要ありません。したがって、競技者や競技会関係者、保護者や応援者、観客等の入場制限は行いません。
- 2、次の事項に該当する場合は参加ならびに来場は見合わせください。
 - ・大会前ならびに当日の体調に異常のあった場合(例:発熱、咳、咽頭痛などの症状がある場合)
 - ・同居家族や通常接触する身近な知人等に感染や感染が疑われる方がいる場合
- 3、来場者の「マスク着用の考え方」は競技者ならびに競技役員ともに「個人の主体的な選択を尊重し個人の判断」とします。
- 4、引き続き、三密回避行動に心掛け、こまめな手洗いや手指の消毒をするなど、新型コロナウイルス感染防止を日常生活に取り入れた「新しい生活様式」にそって感染防止につとめてください。

- (1) 地区の受付は午前8時30分までに監督が行う。
- (2) 選手の変更は午前8時30分までに補欠登録者のみ認める。各部補欠登録者の人数は、上記の範囲内とし、登録者の出場できる種目は1種目とする。正選手の補欠登録は不可。
- (3) 選手登録は全種目を通じて一人2種目以内とする。ただし、リレーは除く。
- (4) 砲丸は、中学生男子は4kg、中学生女子は2.72kg、一般男子40歳未満は6kg、一般男子40歳以上は5kg、一般女子は4kgを使用する。
- (5) 得点は、各種目1位8点、以下1点減とし、8位が1点とする。ただし、競技方式とする。各地区の順位は、一般と中学生の合計点で決める。ただし、年齢別種目(男子40歳以上)に年齢未達成者が出場すると陸上競技種目の得点は0点とする。
- (6) 1次コールと最終コールを行います。

1次コールは各競技開始予定時刻50分前から30分前に競技場東側の器具庫で行います。このとき、競技係からアスリートビブスとスパイクの確認を受けること。その後、フィールド競技は競技開始予定時刻の30分前に競技場所で、トラック競技は競技開始予定時刻の10分前にスタート地点で最終コールを受けてください。

- (7) リレーオーダーは、所定のリレーオーダー用紙に記入し、競技開始時間の1時間前までに競技係まで提出すること。
- (8) 1500m、3000m、5000m出場者は、招集所（100mスタート地点後方小屋）で腰版バー標識を受け取り、右腰の後方につけてください。腰ナンバー標識は返却しなくてよい。
- (9) 各自競技場所までの移動は、他の競技の支障にならないよう注意すること。
- (10) 競技者は、胸、背に地区名と番号（上段に地区名、下段に番号）のアスリートビブスを付けること。（跳躍競技では、アスリートビブスを胸か背に付けるだけでよい）
- (11) 申込は、一覧表（氏名、年齢、住所、職業等を必ず記入）及び個票（地区番号を記入）に氏名を正確に、男子は黒字、女子は赤字で記入すること。
リレーは、リレー個票に記入すること。リレーは、リレー個票に記入すること。
- (12) スパイクを使用する場合は全天候型専用針（針長さ7mm以下）に限る。
- (13) トラック種目については、予選を行わずタイムレース決勝とする。
- (14) 中学生男子3000mは、オープン参加者が同じ地区の正選手より早い順位でフィニッシュしても、その地区の順位は正選手の着順とする。

猛暑時の対応について

- ① 競技場内でテントやパラソルを活用して日陰を多く作る
- ② 複数参加の競技者に配慮した競技時間の設定
- ③ 競技中の水分補給に配慮する（長距離レースでは給水を行う）

◇ペタンク

- | | | | | | | |
|-------|---|----|------|------|-----------------|------|
| 日 時 | 7月30日 | 集合 | 8:30 | 競技開始 | 9:00~予選11:50~決勝 | 雨天決行 |
| 会 場 | 上府中公園スポーツ広場 | | | | | |
| チーム編成 | 1チーム2名で3チームを編成 | | | | | |
| 試合方法 | (1) 予選はブロック制（4地区対戦を原則とし、参加地区数により3地区対戦ブロックがある）とする。 | | | | | |
| | (2) 事前の組合せ抽選に基づく地区対戦は3チーム同時に行う。3チームの対戦方法は別に定める。 | | | | | |
| | (3) 予選・決勝ともに11点先取りとし、時間制限（1試合は35分 プラス1メニュー ）を設ける。 | | | | | |
| | (4) 予選ブロック毎の順位は、①地区対戦の勝数、②（①が同じ場合は）チーム対戦の勝数、の順で決定する。なお、試合が同点で終了した場合は、両チーム2名が1名1球ずつの1メニューで勝敗を決めることとする。また、前記②のチーム対戦の勝数が同じ場合は両地区代表5名（当日出場者のうち）が順番に1対1で対戦し、先に3勝したチームを勝ちとする。 | | | | | |
| | (5) 決勝トーナメントは3チームが同時に3メニュー勝負を行う。先に2勝したチームを勝ちとする。 <u>時間制限等（3）の通りとする。</u> | | | | | |
| | (6) 決勝は8地区によるトーナメント戦とし、予選の各ブロック1位地区及び2位地区のうちから（別に定める方法により）選考された地区が決勝トーナメントに進むことができる。従って、ブロック2位から選考される地区数は、予選が7ブロック制のときは1、6ブロック制のときは2となる。 | | | | | |
| | (7) 決勝トーナメント進出地区の対戦組合せは、予選終了後、決勝トーナメント進出チームが確定次第、各地区代表（監督等）による抽選により決定する。 | | | | | |
| | (8) 午後の決勝トーナメントの開始時刻は、予選終了後に発表する。 | | | | | |
| | (9) 決勝トーナメントでは、2勝した地区が勝ちとなるので、残る1試合の競技は | | | | | |

進行中のメニューの終了をもって中止とする場合がある。

- 選手登録 (10) その他の競技規則は、(公社)日本ペタンク・ブール連盟競技規則に準ずる。
(1) 監督1名。選手8名以内(中学生以上の出場を認める。女子は必ず1名以上)とする。なお、監督が選手を兼ねることができるが、選手登録を必要とする。
(2) 各地区の選手は6名。1チーム2名(ダブルス)で3チームを編成する。女子は常時1名が試合に出場することとする。選手の組合せは自由とし試合ごとに変更ができる。
(3) 当日の選手変更は3名まで認める。選手変更は8時30分までに本部受付に申し出ることとする。
- 注意事項 (1) 地区名のゼッケンを胸に付けること。または地区名を表示したユニフォームを着用すること。
(2) 各チームは試合に必要なボール、ビュット、メジャーを持参すること。
(3) 当日、ボール等を忘れたときは、大会受付に申し出ること
- 猛暑時の対応について
(1) 試合時間を短縮する

◇ゴルフ

- 日時 7月22日 集合 8:20 競技開始 8:56 雨天決行
会場 小田原湯本カントリークラブ
チーム編成 監督1名、選手4名、補欠5名以内。(監督が選手を兼ねることは可)
競技方法 1チーム4名による団体戦とし順位は、4名のうちベスト3名のスコア合計により決定する。
- 競技規則 (1) 18ホールストローク、スクラッチプレー・完全ホールアウトとする。
使用ティーは、男性青マーク、女性白マークとする。
(2) スコアはカートのナビに入力してください。ラウンド終了後同伴者で確認し、登録してください。登録完了後キャディーマスター室にて組ごとのスコア一覧を印刷しますので、間違えがないかチェックする。
(3) 当日欠席があっても、3名以上参加であれば、失格としない
(4) 黄色に黒の斜線杭(ワンペナ)については、ゴルフ場のローカルルールを適用並びに臨時ローカルルールを適用
(5) OBの場合は前進特設ティーは使用せず、打ち直し
(6) グリーン上は完全ホールアウトする
(7) キャディーは委員会が指定した共有のキャディー以外の使用を禁止する
(8) 悪天候等で選手全員が終了できない場合、競技委員会は次の措置をとる
①選手が全地区とも1名ずつ終了している場合はその1名のスコアを成績とする
②選手が全地区とも2名ずつ終了している場合はその2名の合計スコアを成績とする
③選手が全地区とも3名ずつ終了している場合は、その3名の合計スコアを成績とする
- 選手変更 (1) 選手は申込書に記載の者以外は、認めない。
(2) 病気、事故等やむを得ない理由がある場合は、該当選手のスタート時間の30分前までに「選手変更届」と理由書を競技当日の会場の競技委員長に提出し、承認を得て変更することができる
- タイの決定 第1優先: 4番目のスコア
第2優先: 個人ベストスコア順
第3優先: 個人ベストスコアの「マッチング・スコアカード方式」
- その他 (1) 参加プレー費は、各自負担。(キャディー付、食事あり、16,000円(税込))

(2) 団体3位まで表彰する。また、ベストグロスも表彰する。

◇グラウンドゴルフ

- 日時 7月22日 集合 8:30 競技開始 9:00
雨天等で延期の場合は7月23日
- 会場 酒匂川スポーツ広場
- 試合方法 2021年度日本グラウンドゴルフ協会規則に準拠する。
ただし、小田原市グラウンドゴルフ協会特別ルールを部分的に採用することもある。
- 特別ルール (1) 試合は、1チーム6人とし、ショットガン方式にて一斉スタートする。
(2) 打順は、予め決められた打順どおりに打つ。(固定式・ローテーション式)
(3) チーム全員の合計打数の少ないチームを上位とする。
合計打数が同じ場合は、チームの最少合計打数選手を比較し、少ない選手がいるチームを上位とし、これも同じ場合は次に少ない選手がいるチームを上位とする。
(4) 用具は、マイクラブまたは主催者が準備したものを使用する。
(5) 試合途中にて体調を崩す等試合放棄の場合には、棄権とみなす。
突発事情により想定外の事項が発生した場合は、グラウンドゴルフ協会幹部にて対応を協議する。
- 選手登録 選手6名(高校生以上・男子4名以内、女子2名以上)
当日の選手変更を認める。ただし5名以内とする。
チーム編成は3人2組に分かれ、必ず女子を1名以上入れるとする。
- 注意事項 (1) 服装は、チーム全員が同一地区と判別できる服装が望ましい。

猛暑時の対応について

参加者に飲物を持参を厳守とし各コースに飲料準備して対応

◇テニス(地区対抗オープン競技)

- 日時 7月22日 集合 9:00 競技開始 9:30
雨天等で延期の場合は7月30日
- 会場 小田原テニスガーデン
- 試合方法 (1) トーナメント方式で、男子2組・女子1組、計3組(ただし、2組の出場も可とする)のダブルスの対抗戦とし、2組勝ったチームを勝ちとする。
(2) 6-6、7ポイントタイブレーク方式の1セットの試合。(Ad方式)
(3) 3組の対抗戦すべてを行う。
- 選手登録 監督1名、男子5名・女子3名以内。(監督が選手を兼ねる場合は、申込書の「監督」欄と「選手」欄の双方に記入すること)
当日の選手変更を認める。ただし3名以内とする。
- 注意事項 (1) オープン競技とし、地区対抗の得点対象にはならない。
(2) 必ず地区名のゼッケンを背中に付けること。
(3) テニスウェア着用のこと。その他は“22テニスルールブック”に準拠する。
(4) 初回戦敗者は敗者トーナメントを行います。

◇インディアカ(オープン競技)

- 日時 7月22日 集合 8:45 競技開始 9:30
- 会場 小田原アリーナ(サブアリーナ)
- 試合方法 (1) 男子・女子・男女混合の3部に分けて行う。
(2) 予選は各ブロックごとに亀甲型の予選リーグを行い、上位2チームが決勝トーナメントに進む。

- (3) 試合は全てラリーポイント制で行い、予選は21点先取の3セットマッチで
 ジュースはなし。決勝トーナメントは21点1セットマッチでジュースはあり。
 ただし、点差に関わらず25点を先取したチームを勝者とする。
- (4) 予選ブロックの順位は、下記に従って決定する。
- ① 勝ち試合数の多いチームを上位とする。
 - ② ①が同じの時は得失セット差の大きいチームを上位とする。
 - ③ ②が同じの時は得失点差の大きいチームを上位とする。
 - ④ ③が同じの時は代表者3名による抽選で決定する。
- (5) その他については、日本インディアカ協会競技規則によって行う。
- (6) 参加種目、参加数に応じ試合方法の変更を行う。
 監督1名、選手6名以内。競技者は4名。
 男子・女子・男女混合 各10チーム
- 選手登録
 募集チーム
 注意事項
- (1) オープン競技とし、地区対抗の得点対象にはならない。
 - (2) 参加希望者は、6月22日(木)までに(公財)小田原市体育協会に直接申し
 込むこと。申込用紙は、体育協会(小田原アリーナ内)にあり。

◇柔 道 (オープン競技) 中止

- 日 時 7月21日 集合 18:30 競技開始 19:00
- 会 場 小田原スポーツ会館・柔道場
- 試合形式 個人戦とし、参加者に応じて、適宜「トーナメント」ないし「リーグ戦」方式とす
 る。
- ル ー ル 国際柔道試合審判規則および当日の申し合わせ事項による。
- 選手登録 男子有段者(高校生以下を除く)
- 競技時間 3分間
- 募集人数 制限なし
- 注意事項
- (1) オープン競技とし、地区対抗の得点対象にはならない。
 - (2) 参加希望者は、6月22日(木)までに(公財)小田原市体育協会に直接申し
 込むこと。申込用紙は、体育協会(小田原アリーナ内)にあり。